

2000年4月1日から2029年3月31日までに

早産または妊娠合併症と診断を受けて当院で分娩し、胎盤病理検査を受けた方へ

当院では倫理審査委員会の承認及び機関の長の許可を得て、下記の研究を実施しています。本研究は患者さん個々に同意を得ることが困難なため、この掲示をもって同意をいただいたものとさせていただきます。本研究への参加は患者さんの自由意思です。同意いただけない場合でも不利益はありません。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない、または詳細をお知りになりたい方は下記の問合せ先にお問い合わせ下さい。

研究対象者	2000年4月1日以降2029年3月31日までに当院で胎盤病理検査を受けた方
研究課題名	ヒトの胎盤におけるNr _k 遺伝子発現とその機能解析に関する研究 (承認番号 第M2019-011番)
実施予定期間	研究実施許可日～ 2029年3月31日まで
実施機関	東京科学大学病院 周産・女性診療科
研究責任・代表者	東京科学大学病院 周産・女性診療科 宮坂 尚幸
使用する資料	病理部に提出され、保存されている胎盤病理標本 カルテに記載された情報(年齢、既往歴、妊娠・分娩経過など)
目的	Nr _k 遺伝子は、マウスにおいて分娩遅延を引き起こす遺伝子であり、陣痛発来に関連している可能性が示唆されています。本研究ではヒト胎盤でのNr _k 遺伝子の発現をmRNA・蛋白レベルで確認し、陣痛発来のメカニズムの解明の一助とすることを目的とします。
方法	当院病理部に保存された胎盤標本を、免疫染色、In situ hybridization、RNA sequenceなどの方法で解析します。患者さんご自身に追加で検査を行うことはありません。また本研究の該当者本人や、その代諾者が希望された際は、試料・情報の利用又は提供を停止いたします。
研究対象者に予測される危険や不利益	対象者に追加で検査等行うことはないため、危険や不利益が生じることはありません。
公表	研究成果は国内外において学術論文として公表される予定です。
プライバシー	研究にあたって、データ収集時には対応表を作成し、個人情報と直接同定できるような情報は使用されません。研究の発表時にも、研究対象者の身元を特定できる情報は保護いたします。
利益相反	本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。 ※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われな

	いのではないかななどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。
問い合わせ先	東京科学大学生殖機能協関学 宮坂 尚幸 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 Tel 03-5803-0009 (平日 9:00~17:00)
苦情・相談窓口	東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ Tel 03-5803-4547 (平日 9:00~17:00)